



## 製品の環境対応

### 製品含有化学物質の管理・抑制

化学物質は日常生活に欠かせないものですが、適切に使用・管理されないと環境に重大な影響を与える恐れがあります。沖電気グループは環境への影響を踏まえ、製品に含有される化学物質の管理・抑制に取り組んでいます。

#### 化学物質管理基準

製品に含有される化学物質の中で環境への影響が大きい292物質を特定し、禁止物質・抑制物質・自主管理物質に区分して管理しています。EU(欧州連合)の電気電子機器含有化学物質使用規制「RoHS指令」の対象6物質(鉛、六価クロム、カドミウムなど)も含めた総合的な管理を実施しています。

#### ● 化学物質の管理基準

区分	禁止物質	抑制物質	自主管理物質
物質数	97	94	101
特定の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法規制で製造禁止の物質</li> <li>●法規制で製造許可が必要な物質</li> <li>●自社判断による禁止物質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法規制で製造禁止時期など削減が決まっている物質</li> <li>●自社判断による抑制物質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「禁止物質」「抑制物質」に含まれない全ての物質</li> </ul>

#### グリーン調達調査

グリーン調達調査共通化協議会で作成された「グリーン調達調査共通化ガイドライン」に準拠した「沖電気グリーン調達基準書」を制定し、2002年度から運用しています。基準書の内容に基づき、購入先に対して部品・材料に含有される化学物質の調査を実施しています。「沖電気グリーン調達基準書」には、機器関連部門が購入する電子部品・機械部品に適用する基準書と、電子デバイス部門が購入する材料などに適用する基準書があります。基準書は、ホームページで公開しています。

#### 含有物質分析

購入先から部品・材料の含有物質調査の回答が得られない場合には、特定物質の含有の有無を確認する必要があります。沖電気グループでは、非破壊・迅速分析が可能な「エネルギー分散型蛍光X線分析装置」を導入しました。粉体・液体・金属・プラスチック・ゴムなどのあらゆる試料に対応し、幅広い元素が測定できます。

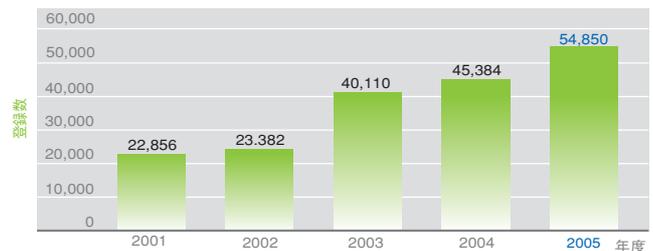


エネルギー分散型蛍光X線分析装置

#### 部品情報データベース

購入部品・材料に含有される化学物質のデータは、部品情報データベースに登録されています。2005年度のデータベース登録累計数は、2004年度から21%増加しました。今後も、部品情報データベースの充実を図ります。

#### ● 部品情報データベース登録数累計



#### 製品含有化学物質情報システム

製品含有化学物質情報システム「COSMOS」を開発し、沖電気グループ全体の共通システムとして運用しています。本システムの活用により、「グリーン調達調査結果のグループ内共有化」、「含有化学物質集計の効率化」が図られ、お客様からの調査にも迅速に回答できています。製品の環境負荷を総合的に評価するツールとして、今後さらに充実を図ります。

#### ● グリーン調達の化学物質調査フローと製品含有化学物質情報システム

